

祝 辞

寒い冬が終わり、校庭の木々も春の訪れを感じ、小さな蕾を膨らませ始めました。あらゆるものが新しく生まれ変わる万象更新の季節です。本日、三十五名の卒業生の皆さんの新しい出発を、こうしてお祝いできることを、大変うれしく思います。

本日ここに、令和七年度 池田小学校卒業式が、ご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、このように盛大に行われますこと、心よりお祝い申し上げます。

副学籍を含む三十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、本日はお子様の晴れの日、誠におめでとうございます。

ご来賓の皆様、そして地域の皆様には、日頃より池田小学校へのご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

おうちの方に手をひかれ、大きなランドセルを背負って池田小学校の校門をくぐった日のことを、覚えていますか。あれから六年。皆さんは今日、自分の足でこの舞台に立っています。

六年間には、楽しいことばかりではありませんでした。雨や雪の日の登校、コロナウイルスによる入学式の延期や一斉休校。思い通りにならない日も、たくさんありました。それでも皆さんは、一日一日を重ね、ここまでやってきました。その事実こそが、皆さんの一番の勲章です。

本日、立派に成長されたお子さんの姿に、保護者の皆様の感慨もひとしおのことと存じます。

四月から、皆さんはいよいよ高瀬中学校の生徒です。会染小学校の仲間たちとともに、新しい世界が始まります。

楽しみな気持ちと、少し不安な気持ち、両方あって当然です。でも、一つだけ覚えておいてください。

皆さんはすでに、「やり遂げる力」を持っています。

児童会活動や運動会で、苦しいこともあったはずですが、それでも友達と協力し、下級生を引っ張り、最後まで立派にやり遂げた。それは紛れもなく、皆さん自身がつかんだ力です。自信と誇りを持って、中学校の門をくぐってください。

池田町には「地域の子どもは地域で育てる」という池田学問所の精神が受け継がれています。そして町では「ただいま★いけだまち」という合言葉のもと、皆さんをいつでも家族のように迎えらるよう取り組んでいます。これからも地域の皆さんと一緒に、皆さんを応援してまいります。

そして、誰より皆さんを見守り、応援してくれているのはご家族の皆さんです。これから先、悩むことも苦しいことも必ずあります。でも皆さんは決して一人ではありません。いつでも、相談してください。

校長先生をはじめ、先生方には六年間にわたり子どもたちに心血を注いでご指導いただきました。町民を代表し、深く敬意と感謝を申し上げます。

むすびに、卒業生の皆さんの輝かしい未来と、池田小学校の益々の発展をご祈念申し上げ、祝辞といたします。

令和八年三月十六日
池田町長 矢口 稔